

「JTSU-E 2023 春」
要求実現に向けて **本部激励を行う!**



～職場からの声～

- 物価高が続き、生活が非常に苦しい。住宅ローンを払うのも大変だ。
- 全系統で業務量が増えており、社員1人あたりの負担も増えている。業務量と賃金がマッチしていない。黒字化を達成したのは間違いなく現場の努力だからそれに報いるべきだ。
- 兼務発令などで労働の複務化が進み、1つの部門に特化した業務ができず、業務や安全の質が低下している。結果、「こんなはずではなかった」と、退職を選択せざるを得ない人が増え続けている。
- 業務や安全の質だけでなく、会社全体の質が落ちている。職場環境の悪化で退職者が複数人出ている職場もある。
- 未来の投資よりも現在の投資が重要。どんなに機械が優れようと扱うのは「人」。人への投資を疎かにする会社に未来はない!

トヨタ自動車の社長は、「**社員の生活が豊かにならなければよい商品はつukれない**」と話しています。会社の発展をめざすことも重要ですが、それは社員の力がなければ実現できません。

会社の発展ばかりを気にして自分自身の労働条件や生活をおざなりにしていませんか？現状維持の労働条件で社員のモチベーションは上がらず、安全・サービスの質の低下は止まりません。賃金引き上げをはじめとした総合労働条件改善を実現するために、引き続き職場からたたかいをつくりだしましょう!

総合労働条件改善を求めることは労働組合として当たり前だ!
全組合員の総力で「生活の豊かさ」を実現しよう!